

8-5-5 ICT委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数：11回

(2) 主な内容

当委員会は、11社12名の委員が参加し、外部活動に参画・連携を図るとともに、講習会開催等により、建設コンサルタント各社のICT関連活動を支援した。

外部活動は、CIM導入推進委員会WG等への委員派遣、建設情報標準化の推進母体である社会基盤情報標準化委員会等への委員派遣を行うとともに、関係機関との意見交換を実施した。

a) 外部機関との連携

外部機関との連携を図るため、国土交通省や(一財)日本建設情報総合センターが設置した委員会、WGへ委員を派遣し、意見照会対応や意見具申を行った。

- ① CIM導入推進委員会WGへの委員派遣
- ② 社会基盤情報標準化委員会への委員派遣
- ③ CALS/EC資格制度関連委員会等への委員派遣

b) 関係機関との意見交換等

- ① 国土交通省と「i-Constructionにおける設計意見交換会」会議(平成29年2月21日)

c) 電子入札コアシステム

- ① 電子入札コアシステム利用者会議に参加(平成29年1月20日)

d) 啓発普及のための活動

協会内啓発普及のため、会員向けにICT及びGISの講習会を引き続き実施した。

- ① CIMの動向と関連情報講習会開催(平成28年9月～11月、9回開催、担当：ICT普及専門委員会)
- ② GIS講習会開催(平成28年6月～12月、34回開催、担当：ICT普及専門委員会)

- ③ CIMハンズオン講習会(平成28年5月～8月、9回開催、担当：CIM技術専門委員会)

e) i-Constructionへの取組み対応

国土交通省では、「ICTの全面的な活用(ICT土工)」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組であるi-Construction(アイ・コンストラクション)を進めている。本委員会は、CIM対応SWG、技術部会技術委員会と連携し、設計分野における基準等の意見照会対応等を実施した。

f) CIMへの取組み対応

国土交通省では、i-Constructionのトッパー施策である「ICTの全面的な活用」の推進に向け、3次元モデルを活用し、社会資本の整備、管理の効率化・高度化を図るCIM(Construction Information Modeling / Management)を、土工、トンネル、橋梁、ダム等へ本格導入するため、CIM導入ガイドライン、要領・基準類等策定している。本委員会では、CIM導入推進委員会WGに参画し、これらの基準類作成に協力した。

2. 次年度の活動について

本年度の活動を継続し、①関連する対外委員会への参加、②関係機関との意見交換、③ICTに関連した啓発普及のための活動を行う。

(ICT委員会委員長 國島 廣高)